

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,385	△12.4	895	△3.5	807	△19.2	45	△90.9
2020年3月期第3四半期	16,426	△9.6	927	1.7	999	△11.6	498	△22.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7百万円(△97.6%) 2020年3月期第3四半期 310百万円(△50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	6.31	—
2020年3月期第3四半期	69.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,024	11,721	45.8
2020年3月期	21,290	11,840	52.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,000百万円 2020年3月期 11,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	9.50	17.50
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△8.8	1,000	△7.5	900	△23.1	170	△72.9	23.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,739,548株	2020年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	552,834株	2020年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,186,747株	2020年3月期3Q	7,186,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、消費の落ち込みに加え、企業業績や雇用環境の悪化が見られ、減速傾向にあります。また、緊急事態宣言の解除や経済対策の実施により、景気悪化の底打ちが見られましたが、冬季にかけての感染の再拡大に伴い、経済活動の制限や外出自粛要請が再度行われるなど、厳しい状況が続いております。

世界経済におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、各国の経済は低迷いたしました。一方、感染拡大防止策の緩和や新型コロナウイルスワクチンの実用化を背景に、先進国を中心に景気は持ち直しつつありますが、感染の再拡大やワクチン接種の遅延等が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界においても、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は大きく、全般的に需要は減少しております。自動車関連では、各自動車メーカーで工場の稼働停止や減産が行われ、世界的に生産・販売台数が減少いたしました。家電分野では、感染拡大防止策の実施に伴う経済活動の制限を背景に、国内外で需要が落ち込みました。一方、テレワークや在宅勤務の増加により、電子ペンやプリンターなど一部では一定の需要を維持しております。医療機器関連では、各国における経済活動の制限に影響を受けつつも、健康志向の増加に伴う医療ニーズの高まりを背景に、需要は底堅く推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注や省力化に向けた生産体制の強化、内製化の推進などを続けてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした取引先からの受注減に伴い、売上高は減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は143億8千5百万円と前年同四半期と比べ20億4千万円(12.4%)の減収、営業利益は8億9千5百万円と前年同四半期と比べ3千2百万円(3.5%)の減益、経常利益は為替差損の増加などにより8億7百万円と前年同四半期と比べ1億9千1百万円(19.2%)の減益となりました。また、連結子会社であるハントンスプリングインダストリーズSDN. BHD. の解散及び清算を決議したことに伴い発生した関係会社整理損失引当金繰上額4億6千4百万円の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千5百万円と前年同四半期と比べ4億5千2百万円(90.9%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、テレワークや在宅勤務の増加などを背景に、電子ペン部品の売上高は好調に推移しております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、多数の取引先からの受注が減少し、プラスチック成形事業全体では減収・減益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて135億3千7百万円と前年同四半期と比べ17億3百万円(11.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は9億4千9百万円と前年同四半期と比べ4千5百万円(4.5%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器と電子ペン部品の売上高は堅調に推移いたしました。一方、デジタルカメラ関連部品及び自動車向け電装品関係部品の売上高は、市場の縮小や半導体の供給不足の影響で受注の回復が見込めない状況となっており、大幅な減収が続いております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6億9千4百万円と前年同四半期と比べ3億2千6百万円(32.0%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は8千2百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)8千8百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受注減少により、設計業務の売上高は減収となりましたが、パッケージ基板の受注は回復しつつあります。検査部門では、付加価値を付けた特殊基板の受注が増加し、売上高も好調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億3百万円と前年同四半期と比べ2千万円(9.2%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は2千8百万円と前年同四半期と比べ5百万円(26.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ30億6千1百万円増加し、168億2千9百万円となりました。現金及び預金が14億2千8百万円、受取手形及び売掛金が7億3千6百万円、有価証券が7億4千6百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億2千6百万円減少し、71億9千5百万円となりました。有形固定資産が3億5千1百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ27億3千4百万円増加し、240億2千4百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ27億6千3百万円増加し、88億8千万円となりました。支払手形及び買掛金が7億1千9百万円、短期借入金が16億円、関係会社整理損失引当金が4億6千7百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8千9百万円増加し、34億2千3百万円となりました。その他(固定負債)が9千8百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ28億5千3百万円増加し、123億3百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円減少し、117億2千1百万円となりました。為替換算調整勘定が1億1百万円減少したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表の「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後の日本及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、全世界的な減速傾向が続くものと思われます。また、各国における感染拡大防止策の緩和や新型コロナウイルスワクチンの接種開始に伴い、経済活動は再開されつつありますが、感染の再拡大が各国で見られており、今後も一定の経済活動の制限が続く可能性があります。このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777,546	8,206,165
受取手形及び売掛金	3,189,600	3,925,684
電子記録債権	534,005	698,921
有価証券	—	746,683
商品及び製品	696,611	747,870
仕掛品	965,295	1,037,088
原材料及び貯蔵品	1,239,252	1,100,604
未収入金	184,488	196,658
その他	182,943	170,777
貸倒引当金	△1,300	△970
流動資産合計	13,768,444	16,829,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,249,224	2,108,723
機械装置及び運搬具（純額）	2,832,968	2,438,765
土地	1,148,758	1,156,013
リース資産（純額）	2,445	108,521
建設仮勘定	102,941	72,759
その他（純額）	562,930	663,280
有形固定資産合計	6,899,268	6,548,063
無形固定資産		
231,233	231,233	201,681
投資その他の資産		
投資有価証券	146,428	147,168
退職給付に係る資産	90,093	132,982
繰延税金資産	3,409	3,873
その他	154,302	161,843
貸倒引当金	△2,885	△125
投資その他の資産合計	391,348	445,742
固定資産合計	7,521,850	7,195,488
資産合計	21,290,294	24,024,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,252	2,515,196
短期借入金	2,150,000	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,292,396	1,283,612
未払法人税等	75,160	93,192
賞与引当金	195,082	148,363
関係会社整理損失引当金	—	467,112
その他	608,490	622,703
流動負債合計	6,116,381	8,880,179
固定負債		
長期借入金	2,660,946	2,594,263
繰延税金負債	263,447	293,161
役員退職慰労引当金	158,178	161,535
退職給付に係る負債	239,619	263,854
その他	11,580	110,234
固定負債合計	3,333,771	3,423,049
負債合計	9,450,153	12,303,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,411,296	8,330,880
自己株式	△397,883	△397,907
株主資本合計	12,448,541	12,368,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,279	△19,775
為替換算調整勘定	△1,246,692	△1,347,720
その他の包括利益累計額合計	△1,266,972	△1,367,495
非支配株主持分	658,572	721,138
純資産合計	11,840,141	11,721,744
負債純資産合計	21,290,294	24,024,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	16,426,230	14,385,939
売上原価	13,355,475	11,627,714
売上総利益	3,070,755	2,758,224
販売費及び一般管理費	2,143,016	1,863,188
営業利益	927,739	895,036
営業外収益		
受取利息	72,650	50,124
受取配当金	5,468	5,721
助成金収入	—	34,500
その他	21,747	14,376
営業外収益合計	99,867	104,723
営業外費用		
支払利息	24,125	22,051
為替差損	3,894	168,705
その他	—	1,165
営業外費用合計	28,019	191,921
経常利益	999,587	807,838
特別利益		
固定資産売却益	2,183	1,350
特別利益合計	2,183	1,350
特別損失		
固定資産売却損	—	10,754
固定資産除却損	948	18,054
減損損失	17,006	82
和解金	15,836	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	464,020
特別損失合計	33,790	492,912
税金等調整前四半期純利益	967,980	316,276
法人税等	258,883	231,285
過年度法人税等	173,499	—
四半期純利益	535,597	84,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,276	39,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	498,320	45,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	535,597	84,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,681	504
為替換算調整勘定	△236,077	△78,091
その他の包括利益合計	△225,395	△77,587
四半期包括利益	310,201	7,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,118	△55,171
非支配株主に係る四半期包括利益	2,082	62,574

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,222,895	980,398	222,937	16,426,230	—	16,426,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,985	40,886	1,560	61,431	△61,431	—
計	15,241,880	1,021,285	224,497	16,487,662	△61,431	16,426,230
セグメント利益又は損失(△)	994,202	△88,888	22,424	927,739	—	927,739

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,525,319	656,731	203,888	14,385,939	—	14,385,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,600	37,675	—	50,276	△50,276	—
計	13,537,920	694,407	203,888	14,436,215	△50,276	14,385,939
セグメント利益又は損失(△)	949,154	△82,542	28,424	895,036	—	895,036

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。